



2026年5月7日(木)
愛知県芸術劇場
(公益財団法人愛知県文化振興事業団)
企画制作第二グループ
☎ 052-955-5506

<Press Release>

公益財団法人愛知県文化振興事業団

報道各位

愛知発の社会や地域と接続する戯曲賞 大賞・特別賞がついに決まる

第23回 AAF 戯曲賞公開最終審査会



「第23回 AAF 戯曲賞」の公開最終審査会を2026年5月26日(火)に開催します。本戯曲賞は、劇作家の発掘・育成、愛知からの文化創造・発信を目的に、2000年に創設された受賞作の上演を前提とする戯曲賞です。社会の価値観の多様化などを踏まえ検討を重ね、第23回からテーマを「言葉と個と場と」に一新。戯曲の言葉を通じて個と場と社会をつなぐ取り組みを進めます。演劇や戯曲が持つ力や可能性をさらに広げながら、地域や社会課題にアプローチする事業も展開してまいります。

今回は、全国から256作品の応募があり、一次では25作品が選出され、二次審査では5作品がノミネートされました。この中から大賞・特別賞を決定する最終審査会を愛知芸術文化センターアートスペースA(12階)にて公開で行います。大賞受賞作品は、2027年度以降に当劇場のプロデュース公演として、小ホールで上演を予定しています。演出家や振付家、舞台芸術のプロデュースやアクセシビリティに携わる方など、様々な立場から舞台芸術に携わる5名の審査員による、白熱した議論にご期待ください。

なお、ノミネート作品は当劇場のウェブサイトでご覧いただけます。

お問合せ

愛知県芸術劇場(公益財団法人愛知県文化振興事業団)

企画制作第二グループ(武石・仲村)

〒461-8525 名古屋市東区東桜1-13-2 Tel 052-955-5506 Fax 052-971-5541

メール: pr@aaf.or.jp ウェブサイト: <https://www-stage.aac.pref.aichi.jp/event/detail/20260526.html>



第 22 回 AAF 戯曲賞 公開最終審査会の様子(2023 年 1 月 愛知芸術文化センターアートスペース EF(12F))

日 程 | 2026 年 5 月 26 日 (火)

時 間 | 最終審査会 13:30～

会 場 | 愛知芸術文化センターアートスペース A (12F)

入 場 料 | **無 料** (定員 100 名程度) ※予約不要・途中入退場可

二次・最終審査員 | (50 音順・敬称略)

荒井洋文 (プロデューサー、舞台芸術制作者、犀の角代表)

倉田翠 (演出家、ダンサー、akakilike 主宰、まつもと市民芸術館芸術監督 (舞踊部門))

平塚直隆 (劇作家、演出家、俳優、オイスターズ) ※第 12 回 AAF 戯曲賞受賞

廣川麻子 (特定非営利活動法人シアター・アクセシビリティ・ネットワーク (TA-net) 理事長)

山口茜 (劇作家、演出家、トリコ・A/サファリ・P 主宰、メニコン シアターAoi 芸術監督)

賞 金 | 大賞 50 万円、特別賞 10 万円

ノミネート作品 (作品名 50 音順・敬称略)

作品名	応募者
『 ^い 良いキャンペーン』	^{みつはしりょう た} 三橋 亮太
『 ^い いみいみ』	^{いずみ そ ら} 泉 宗良
『 ^お 落ちる』	^{むこうざか たつ や} 向坂 達矢
『 ^{ふゆーじょん} Fusion,(フュージョン、)』	^{かわむらと も き} 川村 智基
『 ^{ぶらんと} Plant』	^{やまぐち ひろ き} 山口 大器

※ノミネート作品は、ウェブサイトから閲覧いただけます。

<https://www-stage.aac.pref.aichi.jp/event/detail/20260526.html>

応募作品の状況

応募作品数 256 作品(第 22 回 91 作品、第 21 回 115 作品)

一次審査通過作品 25 作品

二次審査通過作品 5 作品